

報道関係者 各位

グループ社員への社長交代ご挨拶

<新社長就任挨拶(長岡社長)>

私は、2022年2月25日の取締役会決議を受け、ニッケの第15代社長に就任いたしました。皆さんにご挨拶するにあたり、改めて責任の重大さを感じ、身の引き締まる思いです。新社長としての私の使命は、折り返し点を迎えた「ニッケグループRN(リニューアール・ニッケ)130ビジョン」で掲げた「ありがたい姿」に向かって、また更にその先に向かって、ニッケグループを推進させていくことだと考えています。



第2次中期経営計画の初年度である前期は、過去最高の当期純利益を達成することができました。新型コロナウイルス感染拡大の影響が続くなか、創意工夫し目標に向けて邁進してこられたグループ社員の皆さんの成果であり、感謝申し上げます。そして、現在の4事業部体制を推し進め、強固なものにされた、富田前社長の強いリーダーシップの賜物であると深甚なる感謝を申し上げます。

私は、技術系社員としてニッケに入社し、38年が過ぎようとしています。主に製造現場で長く過ごしてまいりましたが、どの職場においても、ニッケグループの変化を強く感じてきました。国内外の経営環境は大きく変わりましたが、ニッケグループもしなやかに形を変えています。1999年当時は繊維事業が売上の76%を占めていましたが、現在では4事業がバランスよく組み合わさった事業複合体になっています。このコロナ禍においては、ただ耐えるだけでなく、攻めることもできる、強固な事業体になりました。次はこの強固な経営基盤を足場にして、未来への成長を感じることができる、顧客・株主はもとより社員の皆さんもわくわくするような企業へとステップアップするタイミングだと感じています。

これから、私が経営を進めるにあたり、考えていることを述べたいと思います。

今後、更にニッケグループが大きく成長するためには、ニッケグループの仲間を増やすM&Aに加え、3つの投資が必要と考えています。一つ目は「生産設備やインフラ設備への投資」、二つ目は「顧客を増やすための投資」、三つ目は「人材育成のための投資」です。皆さんが前に出て事業を推し進める環境を作っていくことが私の責任だと考えています。

NEWS RELEASE

一方で、皆さんにも求めたいことがあります。現在のコロナ禍を始めとして、世の中では予想もつかない出来事が発生し、予想をはるかに超えるスピードで変化しています。目の前の業務をこなし同じことをしているだけでは取り残されます。常に先を読んで、「誰も踏み出さない、未開の分野」に目を向けてください。ニッケグループが成長するための主役は各事業、グループ会社の皆さんだということを是非心がけてください。

また、会社が持続的に成長するにはコンプライアンスの徹底はもとより、サステナビリティへの取り組みも重要になってきています。会社も社会の一員であり、社会の持続的な成長がなければ、会社も成長することはできません。待ったなしの地球環境問題など課題は山積みです。ただ、リスクと捉えるだけでなく、これらの社会的課題を解決していくことにニッケグループの存在価値があると考えてください。

本日は、コロナ感染のリスクを避けるため、Web配信という形になり、大変残念です。落ち着きましたら、是非、皆さんの事業所を回りたいと思います。皆さんの市場がどのように変化しているのか、またどのように対応されてきたのか、現場の声を聞かせてください。

最後に、私は、社長として、ニッケグループの代表として経営を推し進めていくにあたり、皆さんと共に全力を尽くす所存です。「RN130ビジョン」のありたい姿、更にその10年、20年先のありたい姿を描き、ニッケグループが一丸となって、生命力あふれた「みらい生活創造企業グループ」にチャレンジしていきましょう。

ニッケグループ代表

ニッケ 代表取締役社長 長岡 豊

NEWS RELEASE

<新会長挨拶(富田会長)>

私は、2022年2月25日の株主総会後の取締役会決議を受け、代表取締役社長を退くこととなりました。後任には、長岡取締役常務執行役員が就任いたします。この場を借りて、皆様からの長年のご支援に心より感謝申し上げます。



私は、当社グループ創立120年目にあたる2016年に社長に就任しました。祖業の基幹事業である羊毛工業が世界的競争に突入しているなか、今後どのようにすればグループが永続的に拡大発展していけるかを模索し、その第一歩を踏み出そうとしていた時でした。そして、その変革の道しるべとしたのが「RN130ビジョン」です。

目指した経営体制は、迅速に市場変化に対応できるグループ経営であり、グループ全員で各事業領域における成長ドライバー「自分たちの未来」を創り上げていくことでした。一昨年から続くコロナ感染拡大のなかで、成長ドライバーの育成には若干ブレーキがかかっているものの、その成果として、各事業領域における自分達の成長ドライバーが見えてきました。また、業績からも分かるように、グループ各社が、自らの市場変化に対する柔軟な事業の創意工夫と迅速な経営体制の対応力から、「そのしなやかな強さ」を発揮しています。

更に、グループも60社を超えるようになり、多くの仲間が集まってきました。社長巡視での意見交換の場や社内研修の場でも、野心的でチャレンジングな事業構想が多く出るようになり、実践され、結果も出てきました。RN130ビジョンの土台が出来てきたように感じています。皆さんが「自分たちの未来・成長ドライバー」を自分達で創ること、つかみ取ることを実感できたなら、皆さんのその自信こそが最も大きなグループの財産だと思っています。

今年はちょうど次の創立130年目(RN130ビジョン)に向けての折り返しの年です。そして、次の10年、「ニッケグループ チャレンジ140」について、新しいリーダーとグループ皆さん全員で、どのような魅力的なグループを目指すか、準備していかなければいけません。自らの手で自分たちの未来を創るのです。

今後の野心的な、暑苦しいほどの情熱を持った皆さんの奮闘に期待して、最後の挨拶としたいと思います。

ニッケ 取締役会長 富田 一弥

《 本件に関する問い合わせ先 》

ニッケ 経営企画室
室長 水口 雅雄

TEL:06-6205-6610